



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス
 コード番号 4732 URL https://www.ussnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	38,842	11.5	18,127	6.6	18,415	6.6	12,333	4.5
2018年3月期第2四半期	34,822	7.6	17,013	9.8	17,275	9.3	11,799	8.8

（注）包括利益 2019年3月期第2四半期 12,416百万円（4.0%） 2018年3月期第2四半期 11,940百万円（10.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	48.53	48.44
2018年3月期第2四半期	46.45	46.37

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	226,082	178,576	78.3
2018年3月期	222,292	172,190	76.8

（参考）自己資本 2019年3月期第2四半期 177,005百万円 2018年3月期 170,767百万円

（注）「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	23.50	—	24.30	47.80
2019年3月期	—	24.60			
2019年3月期（予想）			—	24.60	49.20

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,200	5.4	37,300	3.4	37,800	3.1	25,000	2.9	98.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年3月期2Q	313,250,000株	2018年3月期	313,250,000株
2019年3月期2Q	59,077,894株	2018年3月期	59,144,794株
2019年3月期2Q	254,137,748株	2018年3月期2Q	254,007,713株

(注) 2019年3月期2Qの期末自己株式数には189,000株、2018年3月期の期末自己株式数には255,900株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2018年11月14日(水)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、登録車の新車登録台数が1,577千台（前年同期比1.9%減）と減少した一方、軽自動車の新車登録台数は905千台（前年同期比3.5%増）と増加し、新車登録台数全体では2,482千台（前年同期比0.0%増）となりました。

中古車登録台数は、登録車が1,836千台（前年同期比1.2%減）、軽自動車は1,446千台（前年同期比1.8%増）となり、中古車登録台数全体では3,282千台（前年同期比0.1%増）と前年同期実績をわずかに上回る結果となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

また、中古車輸出市場は、主な仕向地のうち、ミャンマー、ニュージーランド、パキスタンなどの輸出台数が減少したものの、アフリカ諸国やスリランカ、ロシア向けの輸出台数が大幅に増加したことなどから輸出台数は674千台（前年同期比2.0%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は3,639千台（前年同期比3.7%減）、成約台数は2,348千台（前年同期比0.4%減）、成約率は64.5%（前年同期実績62.4%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高38,842百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益18,127百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益18,415百万円（前年同期比6.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,333百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

オートオークション

2017年8月に株式会社ジェイ・エー・エーを子会社化（みなし取得日 2017年9月30日）したことにより取扱台数が増加し、出品台数は1,416千台（前年同期比16.8%増）、成約台数は892千台（前年同期比15.5%増）、成約率は63.0%（前年同期実績63.7%）となり、オークション手数料収入が大幅に増加しました。なお、J A A会場およびH A A神戸会場を除くと、出品台数は1,200千台（前年同期比0.9%減）、成約台数は775千台（前年同期比0.4%増）となりました。

営業費用については、株式会社ジェイ・エー・エーの子会社化にともない、連結対象となった子会社の費用が増加したことに加え、のれん償却額が991百万円（前年同期実績41百万円）と増加しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高31,550百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益17,613百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、不採算店舗の見直しを進めたことから販売台数が減少したものの、利益率の改善などにより減収増益となりました。事故現状車買取販売事業は、良質な車両の取扱いが増えた一方、販売台数が減少したことなどから増収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高4,583百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益124百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、パーツ販売の一部を終了したことや廃自動車の取扱台数が減少したことなどから減収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、受注台数が増加したことから増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,709百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益340百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は226,082百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,790百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が8,000百万円増加した一方、オークション貸勘定が1,856百万円、有形固定資産が1,823百万円、のれんが991百万円減少したことによるものです。

負債合計は47,506百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,595百万円減少しました。これは主に、預り金など流動負債のその他が1,576百万円、未払法人税等が671百万円減少したことによるものです。

純資産合計は178,576百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,386百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が6,152百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して8,000百万円増加し、41,723百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14,327百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益18,403百万円（前年同期比6.4%増）、法人税等の支払額6,967百万円（前年同期比48.9%増）、減価償却費及びその他の償却費2,667百万円（前年同期比14.8%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は28百万円となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入619百万円（前年同期実績20百万円）、有形固定資産の取得による支出524百万円（前年同期実績3,272百万円）、無形固定資産の取得による支出106百万円（前年同期実績294百万円）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,297百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,180百万円（前年同期比4.7%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間におけるJAA会場およびHAA神戸会場の出品台数および成約台数が想定を下回る台数で推移したことから、前回公表（2018年5月8日発表）の連結業績予想を修正しております。

<連結業績予想>

通期（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	前期実績 (C)	増減率 (%) (B-C)/C
出品台数 (台)	2,960,000	2,890,000	△70,000	2,700,010	7.0
成約台数 (台)	1,840,000	1,815,000	△25,000	1,709,998	6.1
成約率	62.2%	62.8%	0.6 p	63.3%	—
売上高	80,000	79,200	△800	75,153	5.4
営業利益	37,300	37,300	—	36,071	3.4
経常利益	37,800	37,800	—	36,676	3.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,000	25,000	—	24,285	2.9

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,622	47,623
オークション貸勘定	18,846	16,989
受取手形及び売掛金	2,720	2,719
たな卸資産	829	856
その他	819	1,632
貸倒引当金	△61	△27
流動資産合計	62,777	69,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,555	36,300
土地	65,623	65,027
建設仮勘定	33	335
その他(純額)	3,295	3,020
有形固定資産合計	106,508	104,684
無形固定資産		
のれん	37,280	36,288
その他	7,536	7,163
無形固定資産合計	44,817	43,451
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,681	8,710
貸倒引当金	△493	△557
投資その他の資産合計	8,188	8,152
固定資産合計	159,514	156,289
資産合計	222,292	226,082

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	22,339	22,291
支払手形及び買掛金	436	382
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	6,954	6,282
引当金	685	681
その他	6,736	5,160
流動負債合計	37,373	35,018
固定負債		
長期借入金	3,330	3,074
退職給付に係る負債	695	723
資産除去債務	598	597
その他	8,105	8,092
固定負債合計	12,728	12,487
負債合計	50,102	47,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,914	18,914
利益剰余金	185,835	191,988
自己株式	△47,365	△47,235
株主資本合計	176,266	182,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	95
土地再評価差額金	△5,633	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	△5,498	△5,543
新株予約権	364	425
非支配株主持分	1,058	1,145
純資産合計	172,190	178,576
負債純資産合計	222,292	226,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	34,822	38,842
売上原価	13,761	15,108
売上総利益	21,061	23,734
販売費及び一般管理費	4,048	5,606
営業利益	17,013	18,127
営業外収益		
受取利息	9	4
不動産賃貸料	205	221
雑収入	81	99
営業外収益合計	296	325
営業外費用		
支払利息	5	5
不動産賃貸原価	23	23
雑損失	4	8
営業外費用合計	33	38
経常利益	17,275	18,415
特別利益		
固定資産売却益	15	135
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	93	135
特別損失		
固定資産売却損	—	131
固定資産除却損	75	7
その他	4	8
特別損失合計	80	147
税金等調整前四半期純利益	17,288	18,403
法人税等	5,362	5,941
四半期純利益	11,925	12,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,799	12,333

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	11,925	12,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△45
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	14	△44
四半期包括利益	11,940	12,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,814	12,288
非支配株主に係る四半期包括利益	126	127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,288	18,403
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	2,323	2,667
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41	991
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	△3
受取利息及び受取配当金	60	28
支払利息	△17	△17
投資有価証券売却損益 (△は益)	5	5
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△77	—
オークション勘定の増減額	59	3
売上債権の増減額 (△は増加)	1,231	1,808
仕入債務の増減額 (△は減少)	94	0
未払金の増減額 (△は減少)	45	△54
預り金の増減額 (△は減少)	△1,342	△747
その他	△765	△1,266
小計	△403	△575
利息及び配当金の受取額	18,558	21,274
利息の支払額	36	25
法人税等の支払額	△6	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,679	△6,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	13,909	14,327
有形固定資産の取得による支出	16,000	—
有形固定資産の売却による収入	△3,272	△524
無形固定資産の取得による支出	20	619
投資有価証券の売却による収入	△294	△106
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	86	—
その他	△31,413	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,942	△28
長期借入金の返済による支出	△30	—
預り保証金の預りによる収入	△237	△255
預り保証金の返還による支出	66	151
自己株式の取得による支出	△48	△105
自己株式の売却による収入	△0	—
配当金の支払額	129	140
非支配株主への配当金の支払額	△5,900	△6,180
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△75	△40
その他	△1	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,108	△6,297
現金及び現金同等物の期首残高	△11,141	8,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,878	33,722
	36,737	41,723

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の連結子会社である株式会社ジェイ・エー・エーは、第1四半期連結会計期間においてオークション会場の建替えおよびオークションシステムの入替えを決定し、また、当社の連結子会社である株式会社HAA神戸は、第1四半期連結会計期間においてオークションシステムの入替えを決定しております。これにともない除却見込みとなる資産について耐用年数を建替および入替予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が343百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,186	4,736	31,922	2,899	34,822	—	34,822
セグメント間の 内部売上高または 振替高	270	0	270	9	280	△280	—
計	27,457	4,736	32,193	2,908	35,102	△280	34,822
セグメント利益	16,527	113	16,640	321	16,961	51	17,013

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額51百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ジェイ・エー・エーの株式を取得し、同社および同社の子会社2社を連結の範囲に追加したことにより、当第2四半期連結累計期間の「オートオークション」セグメントにおいて、のれんを24,766百万円計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	31,550	4,583	36,133	2,709	38,842	—	38,842
セグメント間の 内部売上高または 振替高	238	0	238	16	255	△255	—
計	31,788	4,583	36,371	2,726	39,098	△255	38,842
セグメント利益	17,613	124	17,737	340	18,078	49	18,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額49百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2017年8月24日に行われた株式会社ジェイ・エー・エーとの企業結合について前第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定にともない、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、取得時点(みなし取得日 2017年9月30日)において、主として顧客関連資産の認識などにより無形固定資産のその他が5,144百万円増加した結果、暫定的に算定されたのれんの金額は27,619百万円から2,853百万円減少し、24,766百万円となっております。

なお、同社株式のみなし取得日を2017年9月30日としているため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	348	388	11.5	792
営業利益	170	181	6.6	373
経常利益	172	184	6.6	378
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	117	123	4.5	250

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	63	74	17.6	153
成約手数料	62	72	17.0	148
落札手数料	91	107	17.8	223
バイクオークション手数料	3	3	11.9	7
商品売上高	9	11	19.2	20
その他の営業収入	41	44	8.0	88
オートオークション計	271	315	16.0	642
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	28	26	△6.5	53
事故現状車買取販売	18	19	1.6	39
中古自動車等買取販売計	47	45	△3.2	93
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	26	23	△9.4	50
中古自動車の輸出手続	2	2	24.6	5
代行サービス	0	0	3.2	0
その他	0	0		0
その他計	28	27	△6.6	56
合計	348	388	11.5	792

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	35	6	△82.3	27
完工ベース	27	7	△74.3	32
減価償却費	22	26	15.5	53